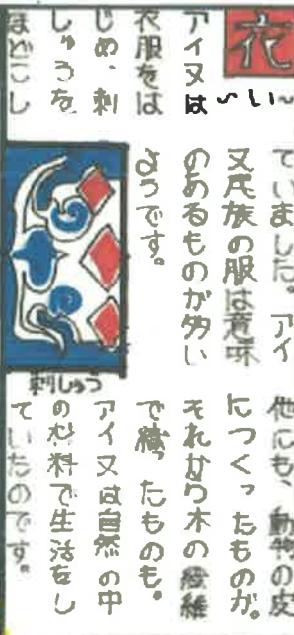
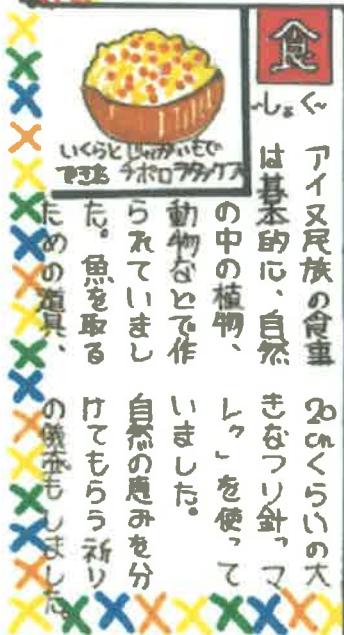


# 自然と共に生きる民族



アイヌの文化

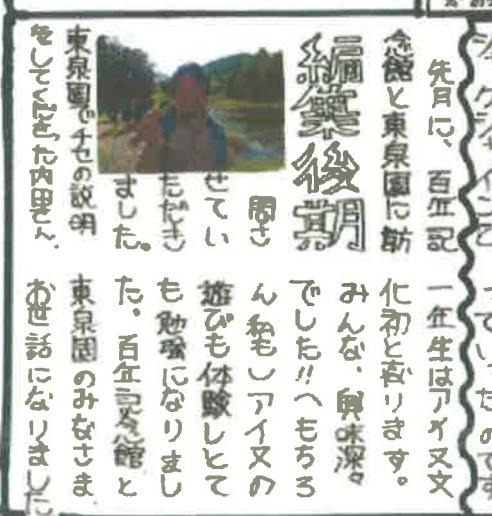
は、様々  
して恵みをもらつ  
た北海道の自然に  
感謝をしそれをは  
じめにすら

ふるさと

作成者  
内田月乃  
2019年9月20日  
1-1



アハイヌ郡で  
どこの宿でも、家  
の顔が見えるひ  
居」と言います。  
家はカシワなら  
の木でかやや屋根  
はススキで涼しく  
保温せいのある家  
です。(厚い草の  
木)生活をしていまし



アイヌ文化の成立は12月2日からです。アイヌの人たちは漁村や植物採取を主にくらして生きていました。アイヌの人たちはねぐらをとおして、交易者として、生産者から漁場労働者へヒアイヌの人たちに役務するように。それに反対して、「シムクドヤイン」と先月に、百年記念館と東泉園に訪問しました。

編集後記

東泉園でナセの説明をしたかった内田さん、お世話になりました。